

職員による自己評価

A 環境面

学習机が足りず、交代で使ってもらうときもある。階段は引き続き注意し、外への飛び出しがないよう施設にも気を付ける。

B 児童への支援内容

個に合わせた対応や、様々な活動ができるよう、工夫をこらしている。
今後もスタッフ間の情報共有など、さらに徹底する。

C 関係機関との連携

各学校の先生方や、キッズクラブの方との連携は、これからも継続していく。

D 保護者への説明責任・信頼関係

保護者の方には、契約時によく説明をし、通所後は随時連絡帳や電話などで、様子をお伝えしている。

E 非常対応

避難訓練を実施する計画がある。

保護者による評価

A 環境面

先生が増えて、良い刺激になっていると思う。

B 児童への支援内容

子どものニーズを組んでくれていると思う。
心配なことを面談や連絡帳で相談できている。
宿題をちゃんとやってくるようお願いしたい。

C 事業所からの情報発信

子どもの状況や課題を伝えるよう、努力してくれていると思う。

D 非常対応

やってくれているのか、よく分からない。

事業所内での分析

【共通点】

保護者との連携はしっかりとれている。
子どものニーズをくみ取って対応できている。

【相違点】

今年度、避難訓練を計画しているので、保護者に周知する。
宿題はないと言って、やらない子供もいるので、その点は個別に連携をとって改善していきたい。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・保護者からの連絡・相談に随時対応していて、連絡帳や電話などでお話する機会を作っている。
- ・子どもたちの課題に対応する学習プリントを用意し、学校の宿題やタイピング練習などの支援をしている。
- ・興味関心に応じて、楽しいイベントや遊びを提供している。

事業所の改善点

- ・非常時の対応について、避難訓練などの実施状況をお知らせする。
- ・宿題ができるように、保護者と連絡を取り、声掛けをしていく。

事業所の改善への取り組み

- 避難訓練を実施し、報告を行う。
- 今後も社内研修、ミーティングなどを重ねて職員の質を高め、より良い放課後等デイサービスを目指す。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所名 かもめフレンズ根岸教室

担当者 大野 真由実